

2024年問題解決！～取組事例紹介～
北九州市モーダルシフトセミナー

国内海上物流の拠点 北九州港



令和7年1月27日

北九州市港湾空港局 物流振興課

▶「陸・海・空」の物流拠点

ひびきコンテナ
ターミナル

田野浦ROROターミナル

門司(太刀浦)
コンテナターミナル

響 灘

中国自動車道

関門海峡

周防灘

小倉(浅野)フェリー
ターミナル

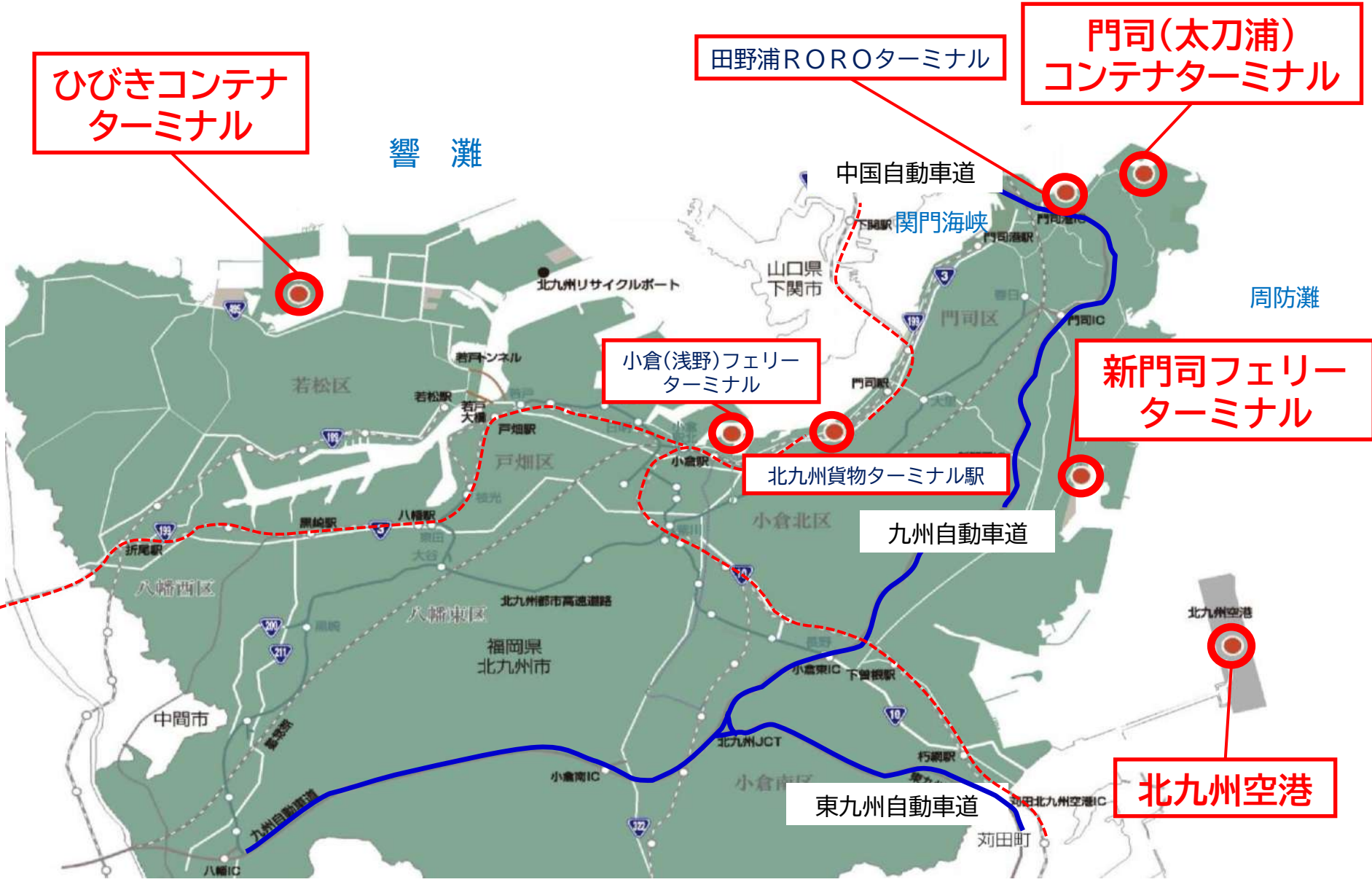
新門司フェリー
ターミナル

北九州貨物ターミナル駅

九州自動車道

北九州空港

東九州自動車道



▶太刀浦コンテナターミナル【西日本有数のCT】

定期コンテナ航路(2025年1月1日現在)

分類	方面	航路数	便数
国際	東南アジア	8航路	32便/月
国際	台湾	1航路	4便/月
国際	中国	13航路	54便/月
国際	韓国	8航路	44便/月
国内	京浜・阪神	3航路	16便/月
国内	日本海	1航路	4便/月

第2コンテナターミナル

- ・岸壁延長555m(GC3基)
- ・水深-10m
- ・蔵置能力5,239TEU



- ### 第1コンテナターミナル
- ・岸壁延長620m(GC4基)
 - ・水深-12m
 - ・蔵置能力8,647TEU

▶ ひびきコンテナターミナル【-15mの大水深港湾】

大水深バース（水深-15m）

- ・岸壁延長700m（350m×2バース、GC3基）
- ・蔵置能力 22,464TEU

多目的バース（-10m）
・延長340m（170m×2）

高圧ガス

危険物

リーファーコンセント

ひびき～沖縄(那覇)RORO航路
(マルエーフェリー/南西海運) 週3便

定期コンテナ航路(2025年1月1日現在)

分類	方面	航路数	便数
国際	東南アジア	2航路	4便/月
国際	中国	2航路	8便/月
国際	韓国	2航路	8便/月
国内	阪神	2航路	12便/月
国内	日本海	1航路	4便/月

▶新門司フェリーターミナル【西日本最大のフェリー基地】



新門司発着のフェリー航路
(関東・関西・四国方面)
4社・5航路・毎日6便

分類	番号	発地	着地	会社名	便数
フェリー	①	新門司	神戸	阪九フェリー	毎日1
フェリー	②	新門司	泉大津	阪九フェリー	毎日1
フェリー	③	新門司	大阪南港	名門大洋フェリー	毎日2
フェリー	④	新門司	徳島、東京	オーシャントランス	毎日1
フェリー	⑤	新門司	横須賀	東京九州フェリー	毎日1(日除く)
RORO	⑥	新門司	名古屋 ほか	フジトランス・トヨフジ海運	週7(月26便)

▶北九州港の貨物量【海上出入貨物】

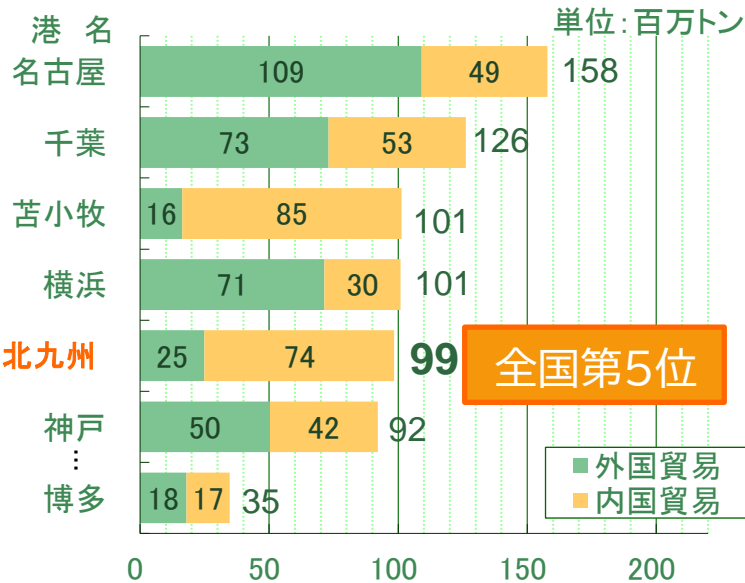
令和5年は**9,857万ト** **全国第5位**の取扱実績

令和6年1~9月(速報値)は前年比3%増で推移

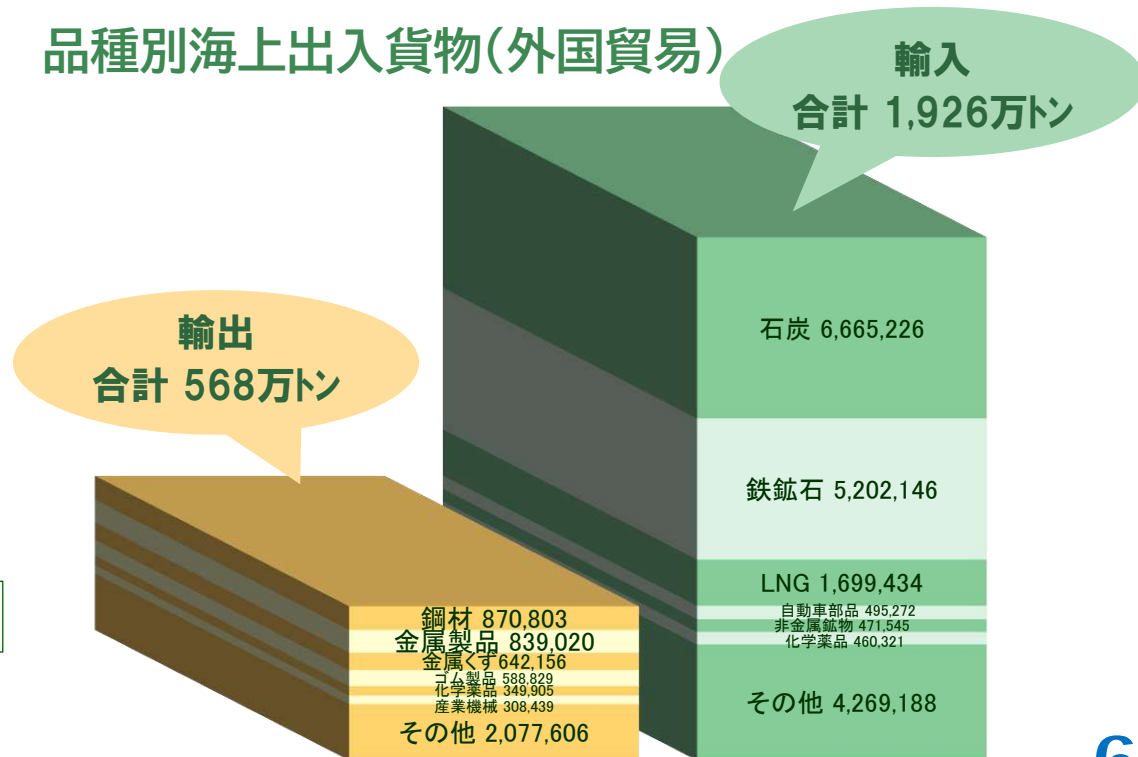
輸送手段別貨物量の割合



日本の主要港の貨物量



品種別海上出入貨物(外国貿易)



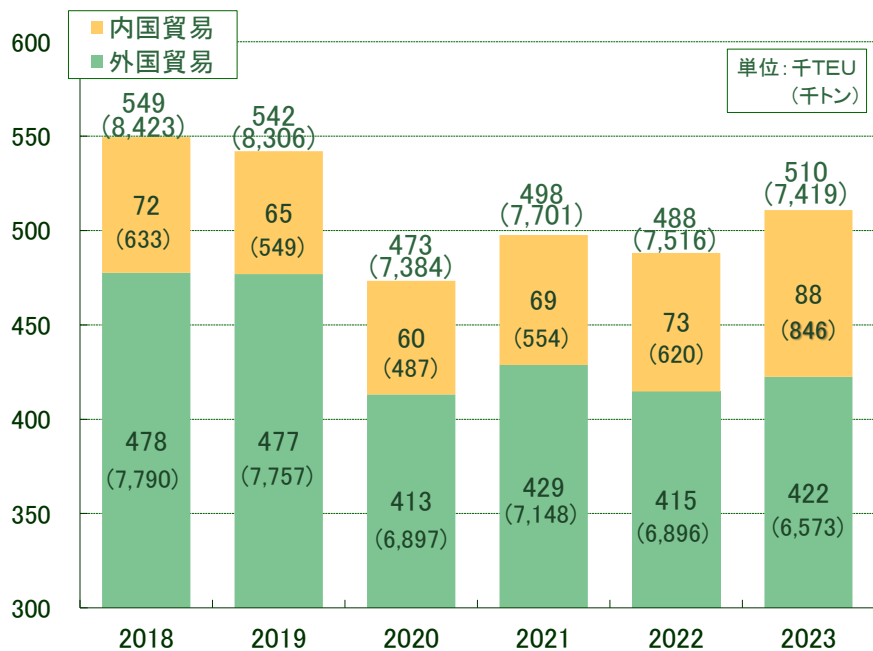
▶北九州港の貨物量【コンテナ貨物】

令和5年は**51万TEU** **全国第9位**の取扱実績
 (うち外貿コンテナ42万TEUは全国第7位)

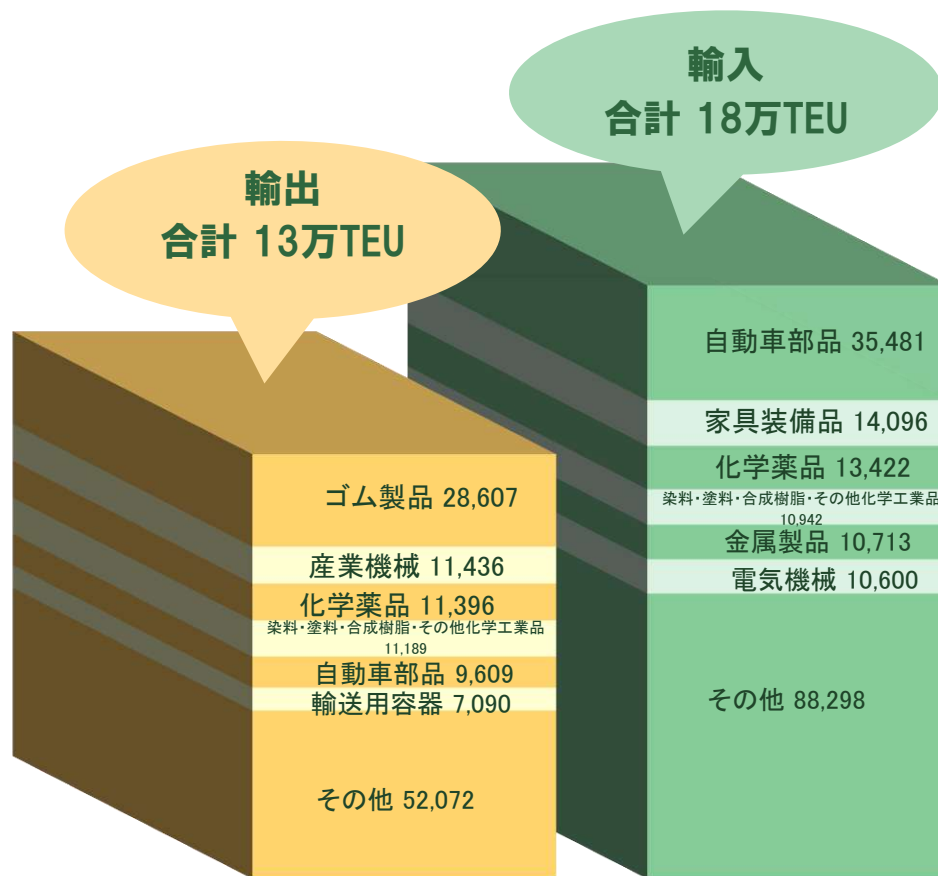
令和6年1~9月(速報値)は前年比2%増で推移

コンテナ貨物量の推移

〔太刀浦CT：44万TEU〕
 〔ひびきCT：6.7万TEU〕



品種別外貿コンテナ貨物(実入りのみ)



▶北九州港の貨物量【フェリー貨物】

令和5年は **過去最高の 5,040万トン 全国第2位**
令和6年1~9月(速報値)は前年比6%増で推移



船舶大型化 ⇒ 輸送力25%UP



▶ひびき・門司を拠点とする日本海航路

- ◇ひびき・門司を拠点とするネットワーク構築⇒内航、外航に接続
- ◇ひびきの日本海航路：令和4年11月～ OOCL+井本商運、神戸で輸出入
- ◇門司の日本海航路：令和5年12月～ COSCO+鈴与海運、門司/博多で輸出入
- ◇令和の北前船としての役割⇒国内間輸送の環境負荷低減、2024年問題対策



▶ 補助制度の拡充【モーダルシフト・コンテナ】

【新規】モーダルシフト補助・・・フェリー・RORO貨物への補助

補助対象貨物	北九州港の定期国内フェリー・RORO航路を利用した新たなモーダルシフト貨物
補助対象者	荷主、貨物運送事業者
補助額	20FT以下のコンテナ、又は8m未満のトラック・トレーラー： 7,000円/台 20FT超のコンテナ、又は8m以上のトラック・トレーラー：10,000円/台 ※金・土・日発便利用は補助単価に2千円上乘せ ※上限20万円

令和7年度も継続・拡充予定

【拡充】コンテナ貨物補助・・・一部の国内貨物に対象拡大

	(1)新規貨物	(2)転換貨物	(3)トライアル貨物
補助対象貨物	工場新規立地や増設等により新たに発生したコンテナ貨物	他港を発着地として輸出入を行っていた貨物を、北九州港利用に転換	新たに北九州港を利用したトライアル輸送を行う貨物
補助対象者	荷主・フォワーダー等		荷主・フォワーダー等
対象ターミナル	ひびきCT	太刀浦CT・ひびきCT	太刀浦CT・ひびきCT
補助額	20 Feetコンテナ：2,500円/本 40 Feetコンテナ：5,000円/本 ※ひびきCTの輸入コンテナは単価設定を2倍！		20FT：13,000円/本 40FT：21,000円/本 ※上限50万円

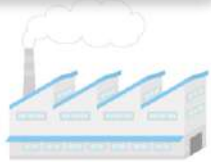
令和7年度も継続・拡充予定

▶ モーダルシフト補助の活用事例

事例

愛知県内事業所から福岡県内事業所までの食品輸送にフェリーを活用

転換前



愛知県



約780km

運転時間9h40m(休憩含まず)

CO₂排出量 1,622kg



福岡県

ドライバー運転時間6h10m削減
CO₂排出量54%削減

転換後



愛知県



190km
2.5h

大阪南港



458km

航海時間12h40m=休息时间

CO₂排出量 748kg

新門司



75km
1h



福岡県

※CO₂排出量は、国土交通省環境政策課作成HP「運輸部門における二酸化炭素排出量」(令和6年4月26日)をもとに、転換前後とも1輸送で10トンの貨物を運んだ想定で北九州市物流振興課が試算

▶コンテナ補助の活用事例

事例

新潟県内事業所から福岡県内事業所までの化学品輸送に**コンテナ船**を活用

コンテナ化や日数増加などの課題が伴うが
トラック輸送の距離&時間は大幅に削減可能
+自然災害リスク減少により輸送が安定化

ドライバー運転時間約13h削減
CO₂排出量約80%削減

【転換後：海上輸送の場合】

- ・陸送距離：約30km(+海上約930km)
- ・運転時間：約1時間(+海上約3日)
- ・CO₂排出量：484kg

【転換前：全線陸送の場合】

- ・陸送距離：約1,130km
- ・運転時間：約14時間(休憩含まず)
- ・CO₂排出量：2,350kg



※CO₂排出量は、国土交通省環境政策課作成HP「運輸部門における二酸化炭素排出量」(令和6年4月26日)をもとに、転換前後とも1輸送で10トンの貨物を運んだ想定で北九州市物流振興課が試算

▶(参考)モーダルシフトの事例紹介

令和5年度エコシップ・モーダルシフト優良事業者（国土交通省）

- ・環境負荷の低減に特に貢献したと認められる優良事業の荷主及び物流事業者をエコシップ・モーダルシフト事業実行委員会が選定
- ・そのうち特に革新的な取組等を行った1件に「海運モーダルシフト大賞」を授与

➤優良事業22件（うち北九州港利用10件）

受賞者		仕出		仕向		概要				
荷主	主要輸送品目	都市	港	都市	港	貨物量（年間）			距離	
						対象貨物	→海上輸送	利用率	陸上輸送	→海上輸送
《海運モーダルシフト大賞》 ダイキン工業（株）鹿島製作所 下関三井化学（株）	再生蛍石	神栖市 （茨城）	東京港	下関市 （山口）	門司港	2,000t	2,000t	100.0%	1,119km	1,083km
（株）明治	乳製品	八女市 （福岡）	新門司港	京田辺市 （京都）	大阪南港	21,263t	12,584t	56.3%	710km	458km
久留米運送（株）	雑貨・加工品・食品	大分市 （大分）	新門司港	伊勢原市 （神奈川）	横須賀港	115,440t	38,480t	30.5%	1,300km	980km
（株）ブリヂストン	タイヤ	那須塩原市 （栃木）	横須賀港	福岡市 （福岡）	新門司港	1,720t	1,720t	100.0%	1,215km	980km
手島梱包輸送（株）	印刷物	大田区 （東京）	横須賀港	長崎市 （長崎）	新門司港	9,600t	3,360t	35.5%	1,227km	980km
日産自動車（株）	自動車部品	清須市 （愛知）	神戸港	京都郡 （福岡）	新門司港	1,857t	1,857t	100.0%	720km	454km
日鉄電磁（株）	トランスコア	北九州市	新門司港	各務原市 （岐阜） 豊中市 （大阪）	神戸港	500t	300t	58.8%	540~710km	454km
ASブレーキシステムズ（株） 伊丹工場	自動車部品・空容器	伊丹市 （兵庫）	神戸港	みやこ町 宮若市 （福岡）	新門司港	8,400t	8,400t	100.0%	1,147km	454km
住友ゴム工業（株）名古屋工場	タイヤ	豊田市 （愛知）	大阪南港	糟屋郡 （福岡）	新門司港	1,200t	1,200t	100.0%	805km	458km
三菱自動車工業（株）	自動車関連部品	北九州市	新門司港	豊田市 （愛知）	大阪南港	2,748t	2,748t	100.0%	736km	458km

（出典）国土交通省記者発表資料（令和6年5月23日）等に基づき物流振興課作成

ご清聴ありがとうございました

